

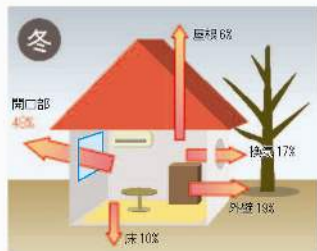
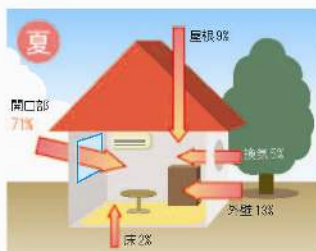
自然との共生

太陽・風・熱と上手につき合おう！

3-2 熱を逃がさない

建物には開口部があります。特に住宅では日当たりや通風が重要なため、開口部は多く作られます。壁などからも熱は逃げますがこの開口部から多く熱が逃げていきます。断熱性の高い材料を使い、熱損失を少なくすることは省エネ対策で重要です。

開口部



サッシ・ガラス

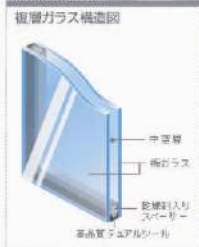
アルミサッシには一般的に普及されていますが、窓の内外の温度差により結露しやすい問題点があります。近年ではこの問題点解決する断熱枠、断熱障子や樹脂性のものがあり多くの住宅で使われるようになりました。断熱性の高い複層ガラスや真空ガラスと併用しより断熱性の高い開口部にしましょう。

断熱サッシ



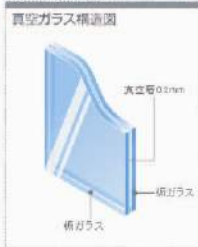
各メーカーに大きな差はありませんがそれぞれ特徴があります。ガラスと組合せて選択してください。

複層ガラス



普通ガラスの約2倍の断熱性能を発揮するといわれています。複層ガラスの断熱性能は、ガラスの厚さにはほとんど影響されず、中間の空気層の厚さで変わります。

真空ガラス



真空は熱を伝えません。複層ガラスより断熱効果は高く、単板ガラス用サッシに装着できるという特徴も備えていますので、既存住宅の窓のリフォームにも可能です。ただし、複層ガラスより価格が高いです。

※サッシやガラスを
組合せ用途や予算
に見合う選択を！

サッシ本体

一重サッシ
断熱サッシ
樹脂サッシ
木製サッシ等

+

ガラス

一枚ガラス
複層ガラス
真空ガラス
遮熱ガラス等

+

窓の組合せ

一重サッシ
二重サッシ
雨戸、シャッター等

+

生活の工夫

カーテン
すだれ
植栽等

＜木製サッシ＞

アルミサッシの普及で、木製の窓枠は激減しました。しかし、木の手ざわりが持つほかの材料にはない温かみがあり、結露もしにくいという長所があります。軒の出や庇をつけ、雨がかかりにくい工夫をすれば快適な道具となります。